

<一般委託>

三笠公園モニュメント等調査業務委託 仕様書

三笠公園モニュメント等調査業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	別紙「三笠公園モニュメント等調査業務委託特記仕様書」のとおり
2	履行期間	契約の日から令和4年3月31日
3	施行場所	横須賀市稲岡町82番14ほか1箇所
4	業務内容	別紙「三笠公園モニュメント等調査業務委託特記仕様書」のとおり
5	特記事項	別紙「三笠公園モニュメント等調査業務委託特記仕様書」のとおり
6	関係法規	
7	資格要件	本業務履行については、下記の資格を有すること。 (1)建築士法による1級建築士または技術士(鋼構造及びコンクリート)
8	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
9	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	監督員 連絡先	環境政策部公園管理課 竹下 046-822-9799

<指示又は希望事項>

<p>グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係</p>	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。</p>
---	---

三笠公園モニュメント等調査業務委託特記仕様書

I 業務概要

1. 業務名 三笠公園モニュメント等調査業務委託

2. 業務の目的

三笠公園は、昭和 39 年に国有地（軍艦三笠保存所跡地）を利用して開園した公園で、昭和 59 年から更に多くの市民が集う憩いの空間とするために、隣接する国有地と合わせて、「水と光と音」をテーマに、市制 80 周年記念事業の一環として、昭和 62 年 4 月に拡張再整備が完了し、記念艦三笠や東郷元帥の銅像や大型モニュメント、音楽噴水池などで親しまれている公園です。

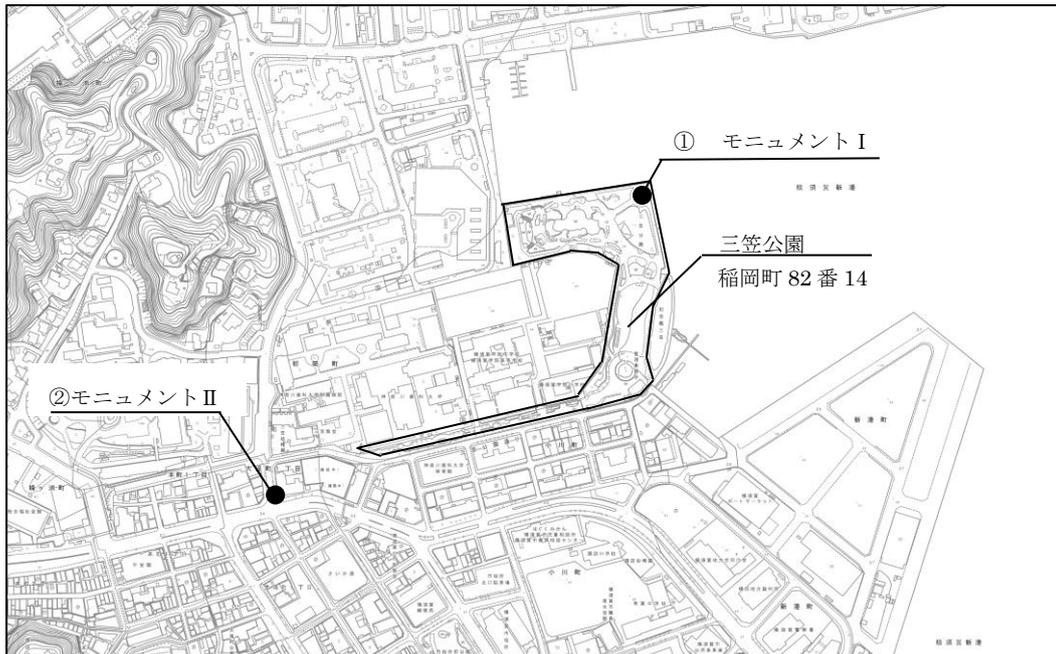
本業務は、拡張整備により設置した三笠公園内のモニュメントⅠ（位置図①）と国道 16 号線と三笠公園通りに接している箇所にあるモニュメントⅡ（位置図②）が、設置から約 30 年以上経過しているため、健全度の調査及び判定を行い、調査結果に基づく今後の維持管理上で必要な修繕の方法とその費用の算出及び撤去方法とその費用の算出を目的とする。

3. モニュメントの概要と位置図

【概要】

- ① モニュメントⅠ 設置年度：昭和 62 年度（推定）
規格：幅 10m 高さ 18m
材質：〈内部〉鋼板 PL12・16・19
〈外部〉SUS316 アートブライト仕上げ
ヘアライン仕上げ
- ② モニュメントⅡ 設置年度：昭和 62 年以降（推定）
規格：幅 10.98m 高さ 12.8m
材質：〈内部〉炭素鋼鋼管 STK490 φ216.3・165.2
〈外部〉上部 ステンレス SUS304 バイブレーション仕上げ
下部 圧延鋼材 SS400
白御影石 本磨き仕上げ・バーナー仕上げ

【位置図】



II 業務仕様

1. 現場代理人等の資格要件

現場代理人等の資格要件は次による。なお、受託者が個人である場合にあってはその者、会社その他の法人である場合にあっては当該法人に所属するものを配置しなければならない。また、必要な登録を行っていることを条件とする。

- ・ 建築士法による 1 級建築士または技術士（鋼構造及びコンクリート）

2. 業務計画書

業務計画書には、次の内容を記載する。

- (1) 現場代理人等の氏名、生年月日、所属・役職、保有資格、実務経験、同種又は類似の実績、手持業務の状況
- (2) 協力事務所の名称、代表者、所在地、分担業務分野、協力を受ける理由及び具体的内容（協力者がある場合）
- (3) 分担業務分野、具体的な業務内容、追加する理由及び主任担当技術者の氏名・生年月日・所属・役職・保有資格・実務経験・業務の実績

3. 工程管理

業務着手前には、工程表を監督員に提出すること。

業務の履行は、業務計画書及び工程表に基づき、適切な工程管理を行うものとする。週間工程表を監督員に提出し、作業の進捗状況の報告や立会の日程を調整すること。

モニュメントⅠは公園区域端部の出入口から距離がある位置にあり、機材の搬入等には園内通行を伴うため、業務の履行にあたっては公園利用者の安全、既存公園施設への影響、その他の状況を十分に理解し、考慮すること。

また、モニュメントⅡは国道 16 号線に面しており、米海軍横須賀基地の出入口付近であり、交通量の多い場所であるため、業務の履行にあたっては考慮すること。

4. 調査業務の内容及び範囲

- 図面調査・作成
- 健全度調査と判定
- 点検口の設置
- 今後の維持管理していくための修繕方法と費用の算出
- 撤去方法と費用の算出

5. 業務の実施

(1) 図面調査・作成

貸与する図面を精査し、図面データを作成すること。また、調査結果や内部構造について可能な限りで加筆した図面を作成すること。

(2) 健全度調査と判定

■ 健全度調査

設置状況や部材・消耗材の劣化や損傷の状況を調査し、損傷程度を判定基準表に基づき各部材の判定を行うこと。また、別紙の点検表に記録し、写真撮影を行い、劣化・損傷・変状箇所・原因の考察について、寸法や部材のどの範囲なのか分かるようにすること。

調査範囲と点検方法は下記を最低限行うものとする。

その他、調査方法や復旧方法を調査前に、監督員と協議すること。

① モニュメントⅠ

調査範囲 地上部（上部工、下部工）

調査方法 上部工（地上部のうち下部工を除く範囲）

外部：目視

下部工（基礎地際から高さ h=5.0m 付近の外部材接合部まで）

外部：近接目視

内部：片側の柱のみに足場を組み、外部材を外し、近接目視とする。

② モニュメントⅡ

調査範囲	地上部（上部工、下部工）
調査方法	上部工（地上部のうち下部工を除く範囲）
	外部：目視
	内部：ファイバースコープ（高所作業車使用）
	下部工（基礎地際から高さ h=4.4m 付近の石貼りまで）
	外部：近接目視
	内部：国道 16 号側から見て、左側にある点検口（石貼り）からの近接目視及びファイバースコープ

損傷程度の判定基準表

損傷区分	判定基準
○	異常なし
△	経過観察 (現時点で即対応する必要は無いが、今後不具合状況が進行した場合「要対応」と判断される可能性の高いもの。)
×	要対応 (危険の可能性が高いもの。部材の劣化・損傷・変状により、本来の機能が果たせていなく、放置した場合、全体に影響があるもの。)

■健全度判定

健全度調査結果に基づく調査範囲の判定とする。判定の実施に当たっては、必要に応じて、屋外彫刻物・造形物の制作・納入・設置の業務経験がある者から意見を聴取すること。また、事前に監督員と協議すること。

健全度の判定基準表

健全度	判定基準
A	全体的に健全である。 異常が認められず、継続使用に問題がないと考えられ、日常の維持保全で管理するもの。
B	全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で経過観察と状況に応じ補修が望ましい。
C	全体的に劣化が進行している。 現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには、早期に補修をする必要がある。
D	全体的に顕著な劣化である。 重大な事故につながる恐れがあり、直ちに使用を中止し、立ち入り禁止する必要がある。

(3) 点検口の設置

日常点検・観測を行う点検口を設置すること。設置については、事前に監督員と協議の上、承諾を得ること。

(4) 修繕方法と費用の算出

健全度判定において、「B・C・D」の評価となったものは、全体の維持管理・保全していくための経済的かつ効率的な修繕方法を複数案検討し、監督員と協議すること。協議により決定した修繕方法の費用は、自社積算及び見積りを含めて、3社分提出すること。

(5) 撤去方法と費用の算出

今後、撤去することも考えられるため、経済的かつ効率的な撤去方法を複数案検討し、監督員と協議すること。協議により決定した撤去費用は、自社積算及び見積りを含めて3社分提出すること。

撤去費用の算出には、撤去（基礎部から上部）、運搬（運搬経路や距離）、処分（処分先）、復旧（設置場所の周囲や景観にあった仕上げ）、仮設（枠組足場）を入れること。

(6) 打合せ簿

打合せは次の時期に行い、速やかに記録を作成し、監督員に提出する。

- a) 業務着手時
- b) 監督員又は現場代理人が必要と認めたとき
- c) その他

(7) 成果物の取扱いについて

提出された調査表や図面データについては、当該施設に係る指定管理者や修繕工事の業者に貸与し、維持管理に使用し、委託後も相談や助言を求めた際には、誠実に対応すること。

(8) 貸与品について

業務の実施に当たり、下記を貸与又はデータを提供することが出来る。

- 点検表
 - モニユメントⅡ点検口の鍵
 - モニユメントⅠ・Ⅱの意匠図
- ※CAD データはない。

6. 成果物

	原図	白焼	製本形態	備考
図面	1部			A3
		2部	製本	A2
調査結果報告書、打合せ簿		2部	製本	A3 または A4

調査結果報告書は、点検表、健全度判定の総括、修繕・撤去方法と費用の算出である。

電子データは以下による。

- ① 電子データで作成し、CD-R 等により 2 部提出すること。
- ② 資料は、Excel2019、Word2019 で提出すること。
- ③ 図面は、CAD で作成し、提出すること。
- ④ 電子データは、全て PDF ファイルに変換したものを併せて提出すること。

点検調書	1 点検位置図	点検部位	-
------	---------	------	---

点検対象	①メインモニュメント（公園内） ②モニュメント（三笠公園通り）	公園名	三笠公園	点検年月日	
------	------------------------------------	-----	------	-------	--

全体図	
-----	--

点検調書	2 現況状況写真	点検部位	-
------	----------	------	---

点検対象	①メインモニュメント (公園内) ②モニュメント (三笠公園通り)	公園名	三笠公園	点検年月日	
------	--------------------------------------	-----	------	-------	--

現況状況写真	写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
	部位名		メモ		部位名		メモ	
	写真説明				写真説明			
	写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
	部位名		メモ		部位名		メモ	
	写真説明				写真説明			

点検調書	3 点検図	点検部位	
------	-------	------	--

点検対象	①メインモニュメント (公園内) ②モニュメント (三笠公園通り)	公園名	三笠公園	点検年月日	
------	--------------------------------------	-----	------	-------	--

点検図	
-----	--

点検調書	4 点検写真	点検部位	
------	--------	------	--

点検対象	①メインモニュメント (公園内) ②モニュメント (三笠公園通り)	公園名	三笠公園	点検年月日	
------	--------------------------------------	-----	------	-------	--

点 検 写 真	写真番号		損傷番号		撮影年月日		写真番号		損傷番号		撮影年月日	
	部位名		部材名		メモ		部位名		部材名		メモ	
	損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度			
	写真番号		損傷番号		撮影年月日		写真番号		損傷番号		撮影年月日	
	部位名		部材名		メモ		部位名		部材名		メモ	
	損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度			

点検調書	1 点検位置図	点検部位	-
------	---------	------	---

点検対象	①メインモニュメント（公園内） ②モニュメント（三笠公園通り）	公園名	三笠公園	点検年月日	
------	------------------------------------	-----	------	-------	--

全体図	
-----	--

点検調書	2 現況状況写真	点検部位	-
------	----------	------	---

点検対象	①メインモニュメント (公園内) ②モニュメント (三笠公園通り)	公園名	三笠公園	点検年月日	
------	--------------------------------------	-----	------	-------	--

現況状況写真	写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
	部位名		メモ		部位名		メモ	
	写真説明				写真説明			
	写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
	部位名		メモ		部位名		メモ	
	写真説明				写真説明			

点検調書	3 点検図	点検部位	
------	-------	------	--

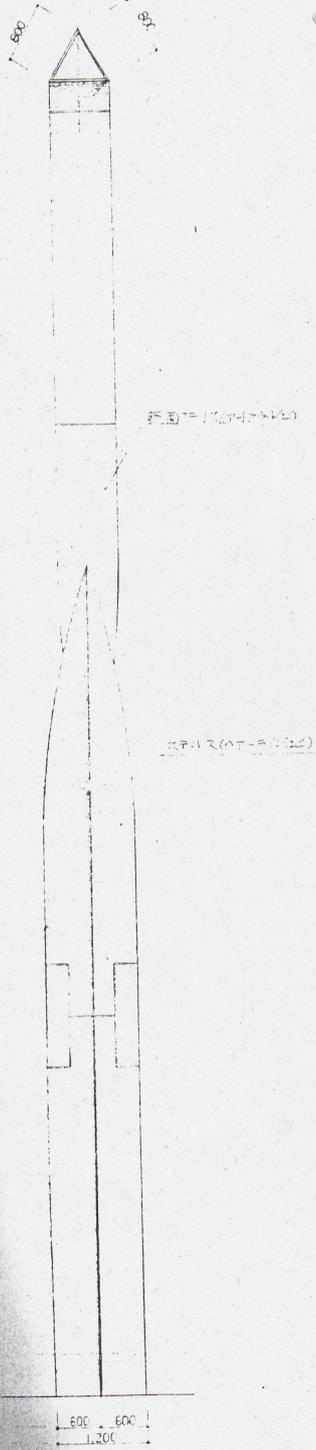
点検対象	①メインモニュメント（公園内） ②モニュメント（三笠公園通り）	公園名	三笠公園	点検年月日	
------	------------------------------------	-----	------	-------	--

点検図	
-----	--

点検調書	4 点検写真	点検部位	
------	--------	------	--

点検対象	①メインモニュメント (公園内) ②モニュメント (三笠公園通り)	公園名	三笠公園	点検年月日	
------	--------------------------------------	-----	------	-------	--

点 検 写 真	写真番号		損傷番号		撮影年月日		写真番号		損傷番号		撮影年月日	
	部位名		部材名		メモ		部位名		部材名		メモ	
	損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度			
	写真番号		損傷番号		撮影年月日		写真番号		損傷番号		撮影年月日	
	部位名		部材名		メモ		部位名		部材名		メモ	
	損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度			



モノメント設計の中心主題

このアーチを取り取ったモノメントは、〈空の神殿〉の中心部に位置し、明かり環境都市の発展と人々の平和への願いを象し、この塔を通して新たな心が未来の大海に向って出発していく考えられたモノメントである。この塔に角割にれたアーチは、7つの大洋を象し、〈神殿〉の中核の源泉の場=地図を上空と見立て立つ。上部の鏡面部分は、空をうつし、天窓と一体化となる。大地が透き見える。その様は、大空を取込んだテラスとなっており、眼前の海と水平線に對峙する。

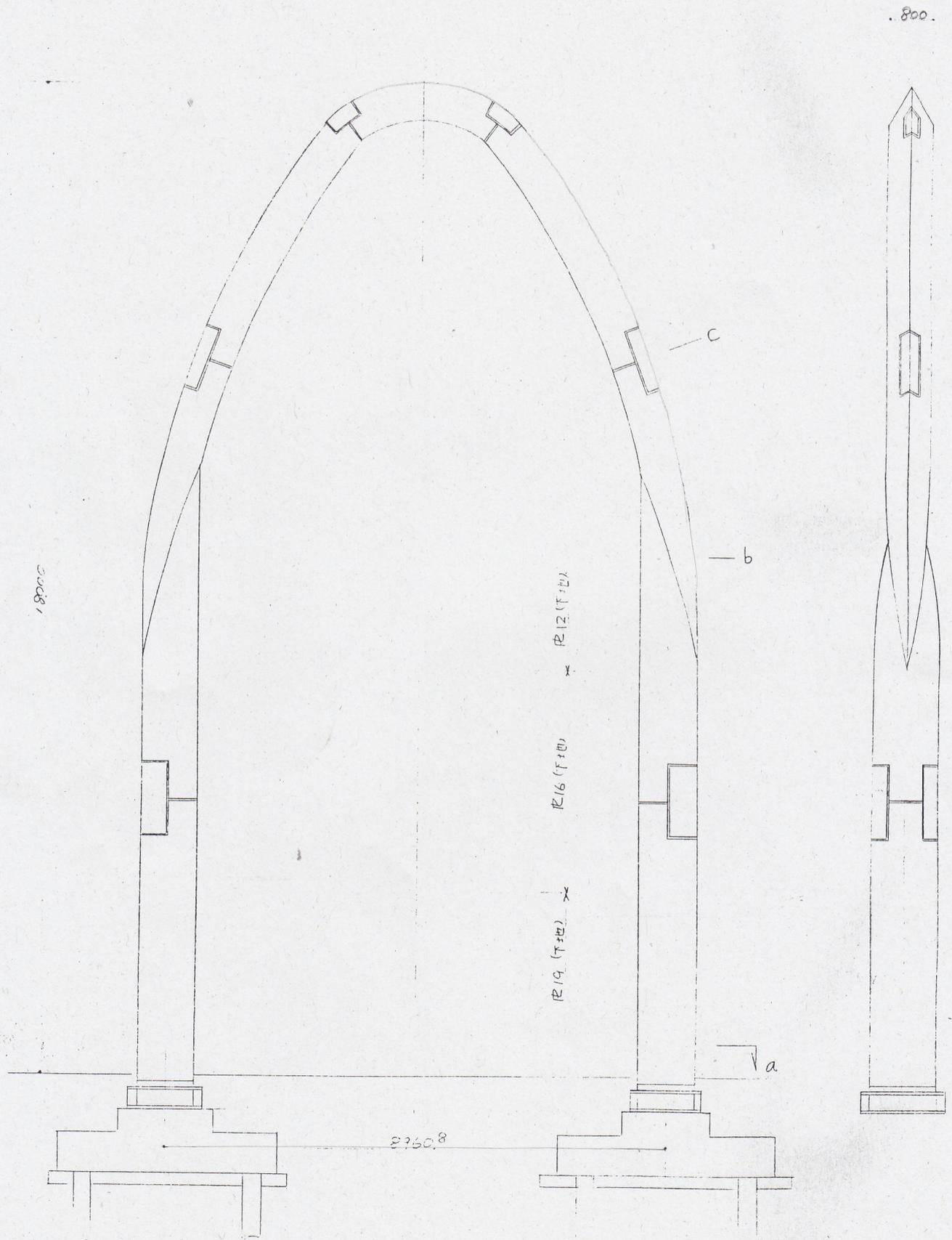
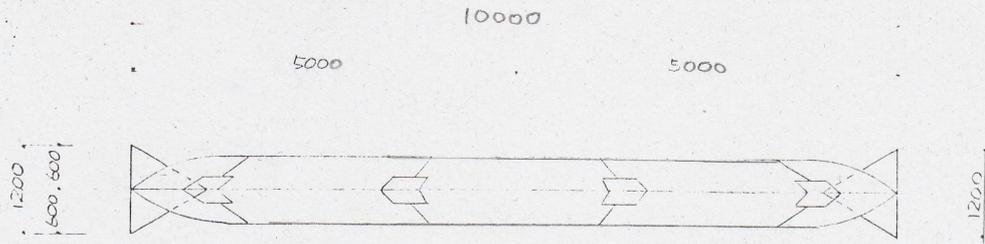
よって、アーチ型モノメントとしては、建築家佐藤一太郎により設計された、アメリカ、セトルズ市の巨大なモノメントが世界的に有名であり、最近では、四国市にも同様のモノメントがつくられている。今度の構想に当たっては、これらのアーチとは異なる方法と発想により、今までにないアーチの形式を考えた。このモノメントの特徴は、広場が垂直のコンクリートの柱の先端にアーチをかいたことであり、他のアーチタイプの垂直柱及び蓄積を廃止しない、独自のテラコッタとして考えた。これは、公園入口のサブモノメント「虹の門」と一体化するようにも考えたテラコッタである。

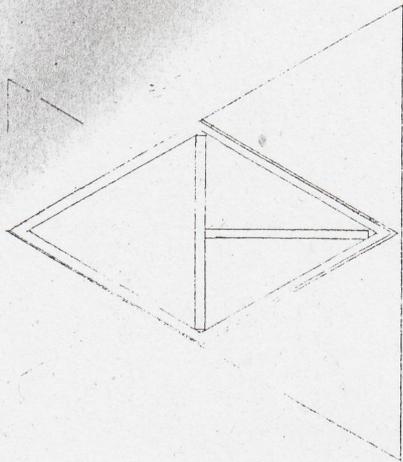
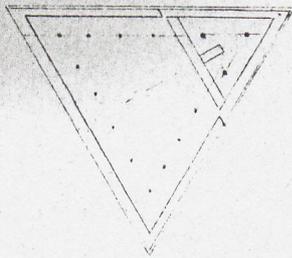
特記事項

- 1) フラット材は、FRP (非油溶性樹脂)とし、外壁は全塗装仕上げとする。目地部分はシリコンコーキングとし、内部に染み入らない様にする。特に柱上フラット材は長板を使用し、継ぎ目による溶接つばはしないとする。
- 2) アーチ部の鏡面仕上げは、アトフラット仕上げとし、柱部は、アトフラット仕上げとする。
- 3) 各部分のテラコッタは、原型模塑制作のものを塗装員との協議の上決定する。
- 4) 制作時において、柱部と上部アーチの接合部の脱模剤(塗料)を塗り、塗装員との協議の上決定する。
- 5) 防錆工事は、基礎工事前に十分凸打合せの後、施工する。
- 6) 防錆工事は、モノメント同様特殊防錆工事であり、モノメント本工事と一緒に施工し、電圧ター及び電圧抵抗検査を行う(塗装員との協議の上決定)とする。
- 7) 制作の上記特記を一覽して行ない十分の経験と想をもち、(株)花菱製作所研究所及び同等又は同等以上の者とする。
- 8) 曲面アーチ構造のため、柱上部分は多少の誤差のおこるものとする。
- 9) 完成後、花菱社に当該工務の持主、責任者(株)花菱製作所研究所より依頼する。

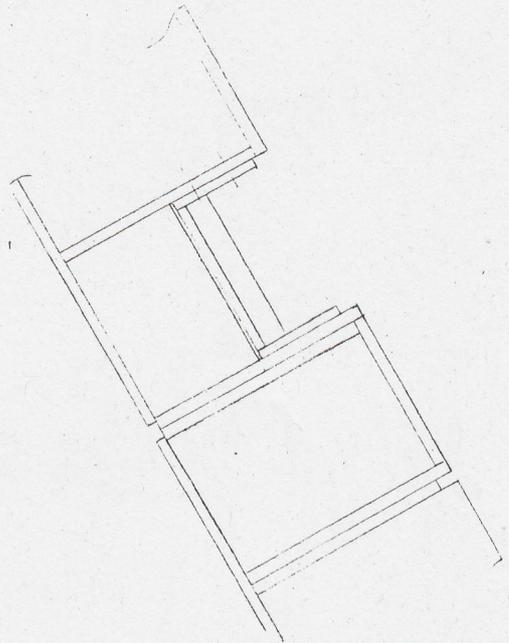
竣工図

横須賀市環境保全部公園建設課	
工事名称	三笠公園整備工事
図面名称	空の神殿モノメント詳細図
図面番号	枚の内 縮尺 1/1000
製作日	昭和 年 月 日
課長	係長 審査 設計



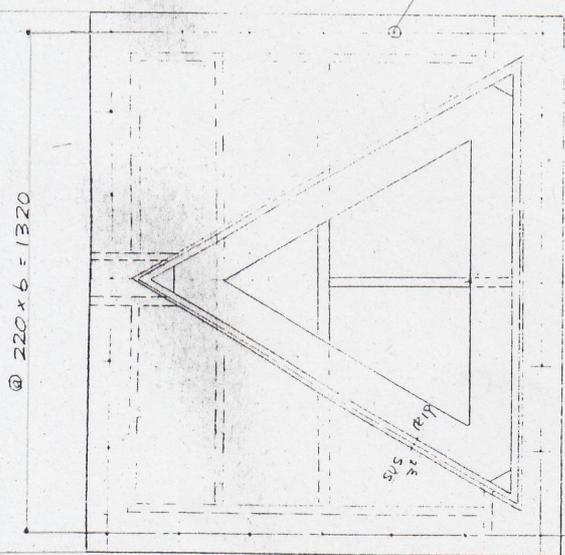


b ~



(~ (座))

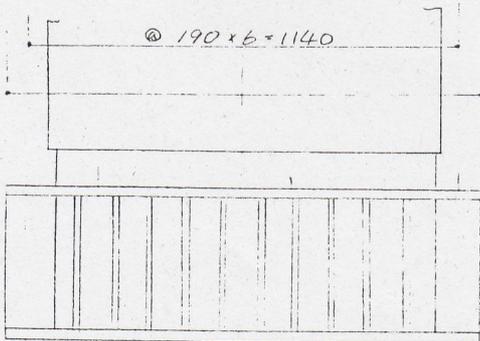
35φ~24
M30 座金付



@ 220 x 6 = 1320

S/S
32
R19

@ 190 x 6 = 1140



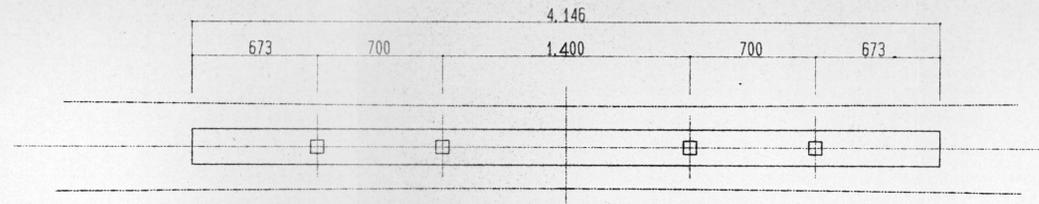
a ~

竣工図

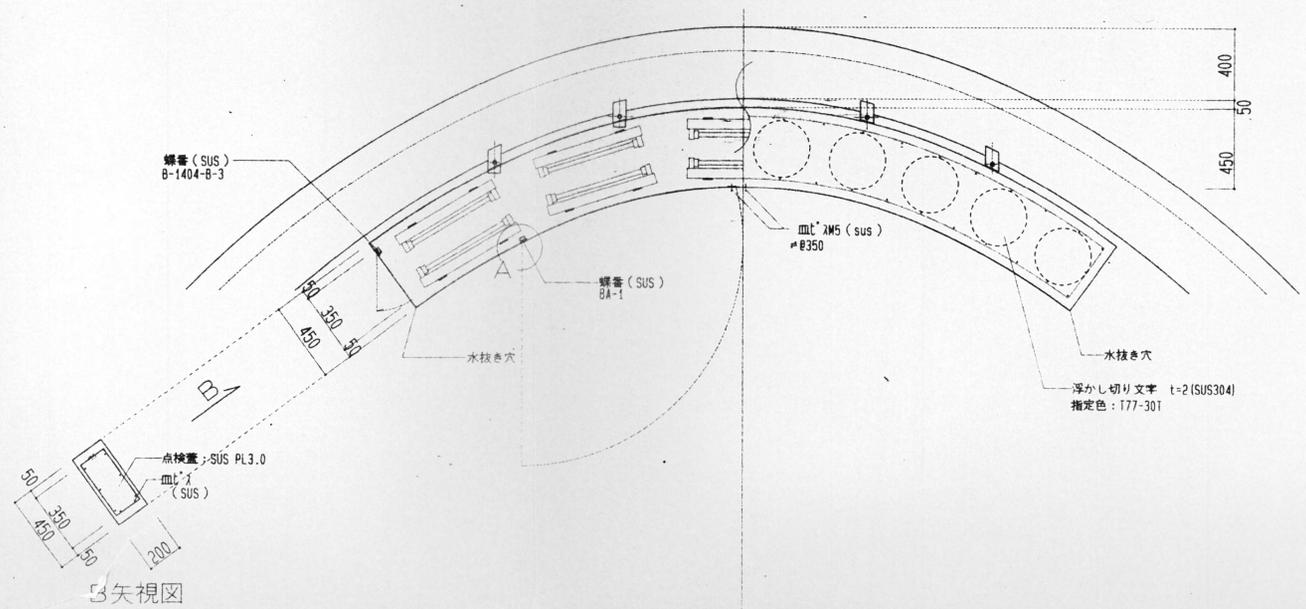
92

横須賀市環境保全部公園建設課

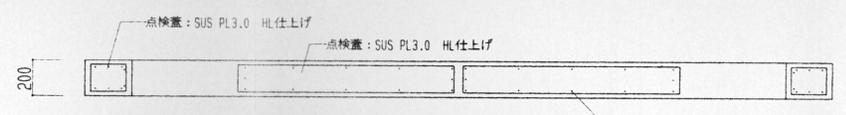
工事名称	三笠公園整備工事		
図面名称	三笠公園整備工事 椅子詳細図		
図面番号	枚の内	縮尺	図外
製作年月日	昭和	年	月 日
課長	係長	番長	設計



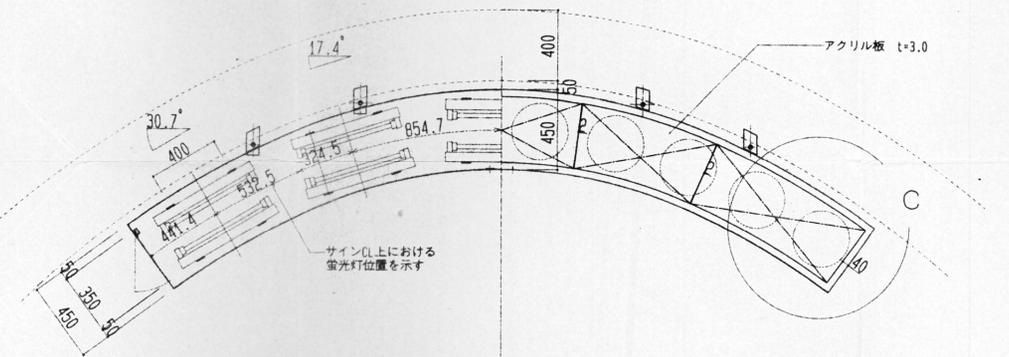
平面図 S=1/20



正面図 S=1/20



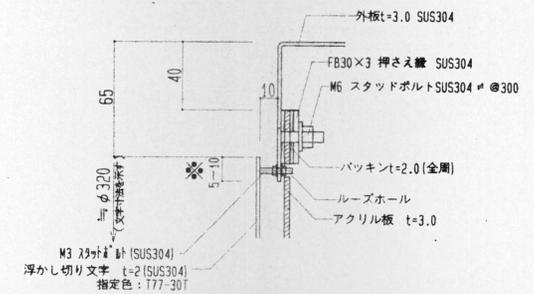
見上げ図 S=1/20



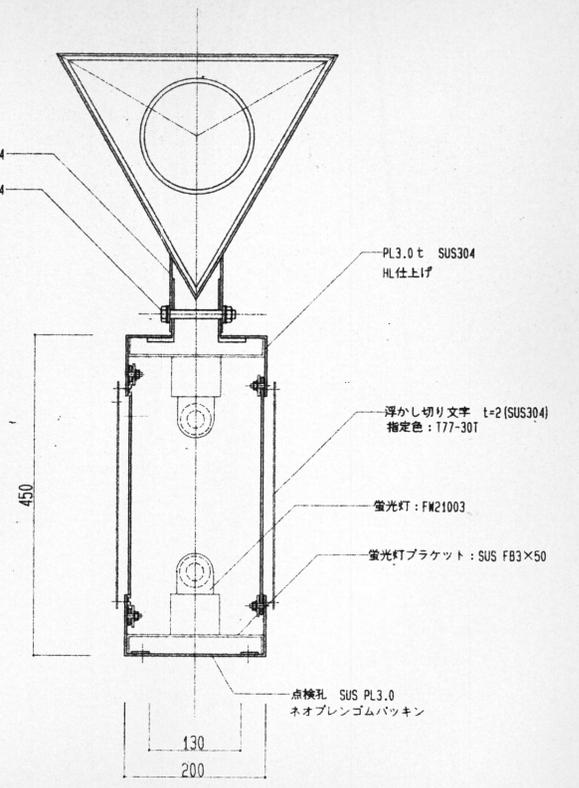
蛍光灯配置図 S=1/20

アクリル板加工図 S=1/20

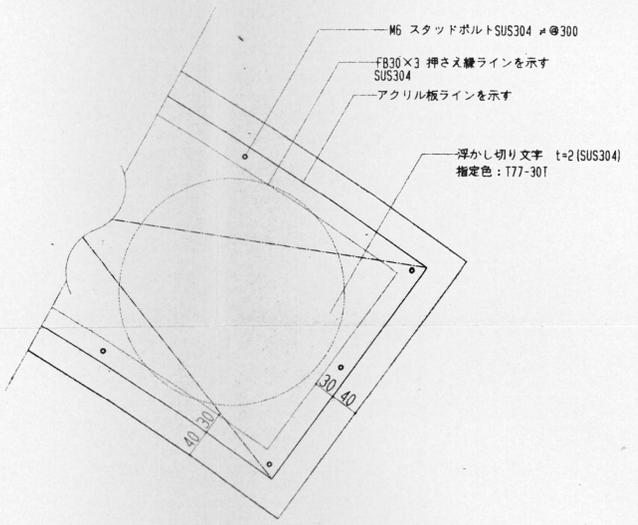
サイン詳細図



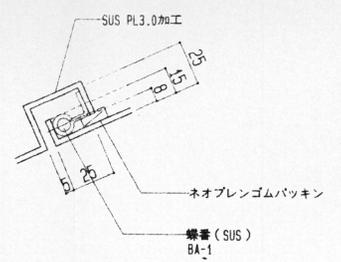
浮かし切り文字詳細図 S=1/2



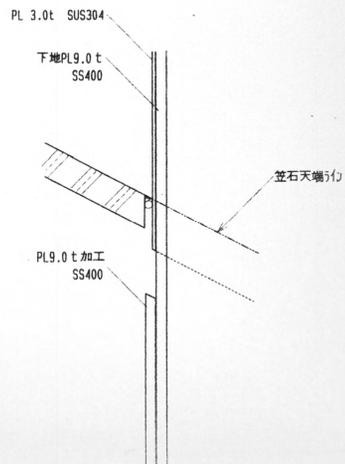
標準断面図 S=1/5



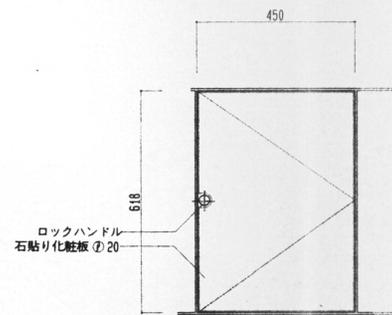
C部拡大図 S=1/5



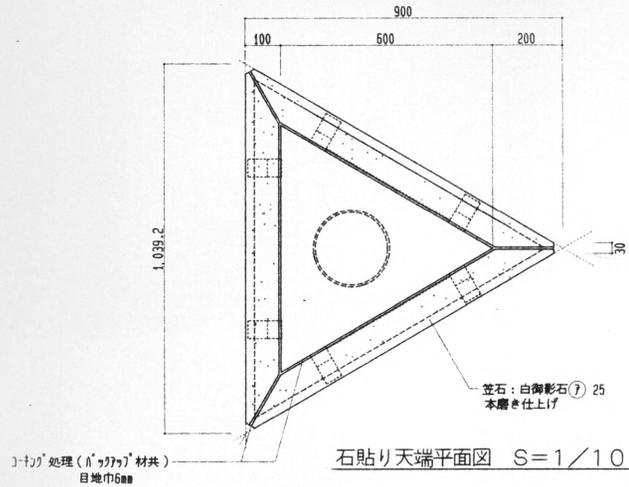
A部詳細図 S=1/2



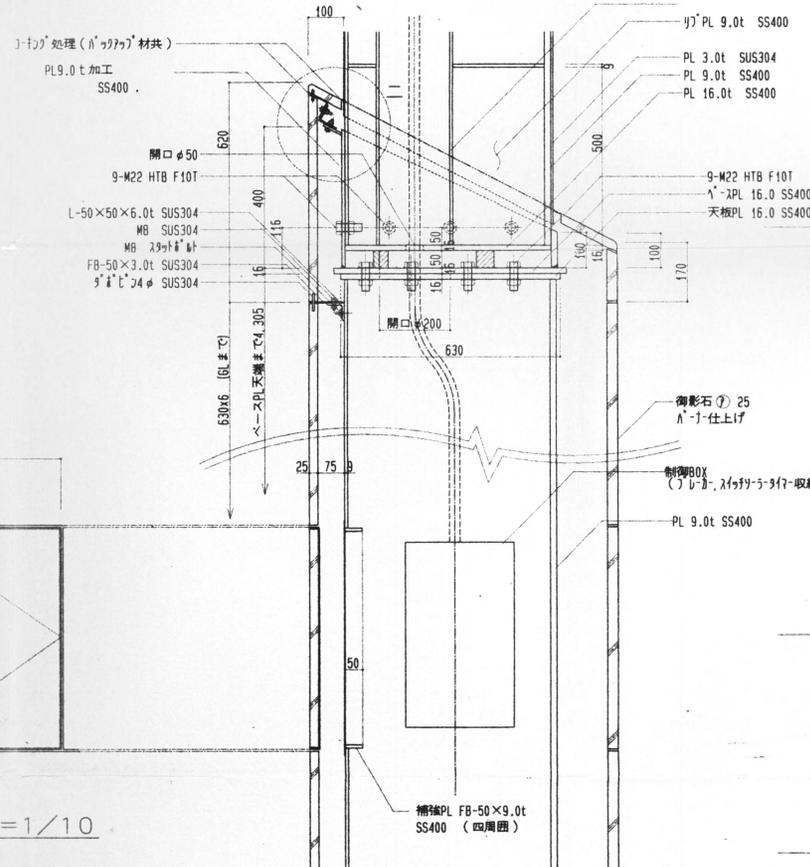
スリム表装板下部収まり図(二部)
S=1/3



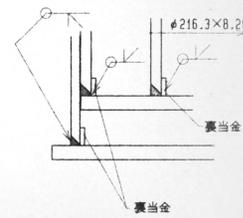
石貼り扉姿 S=1/10



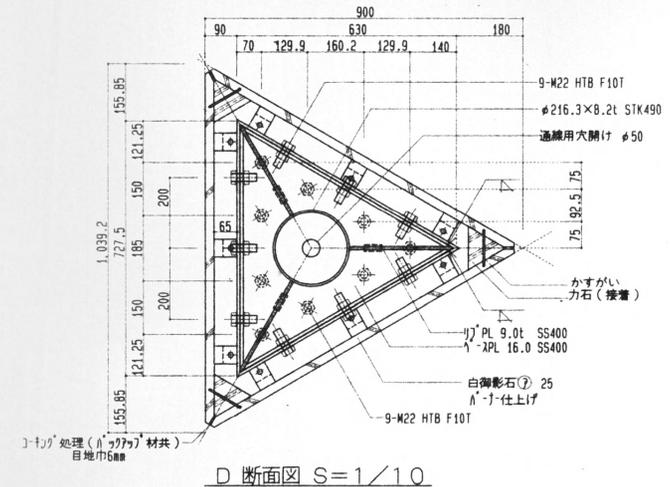
石貼り天端平面図 S=1/10



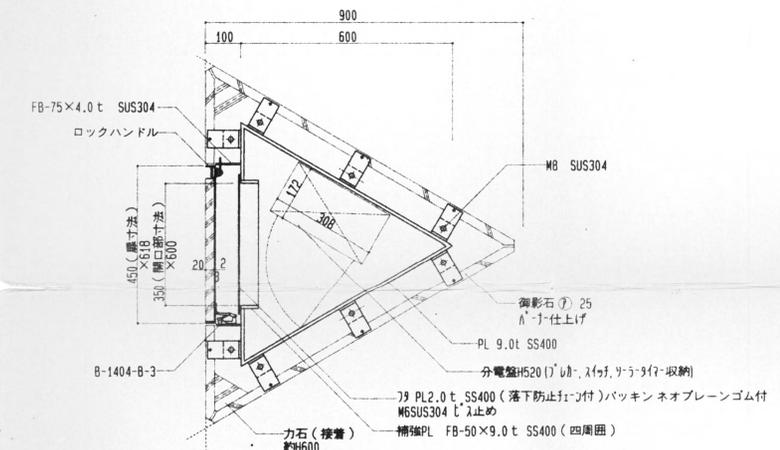
ハ部詳細図 S=1/10



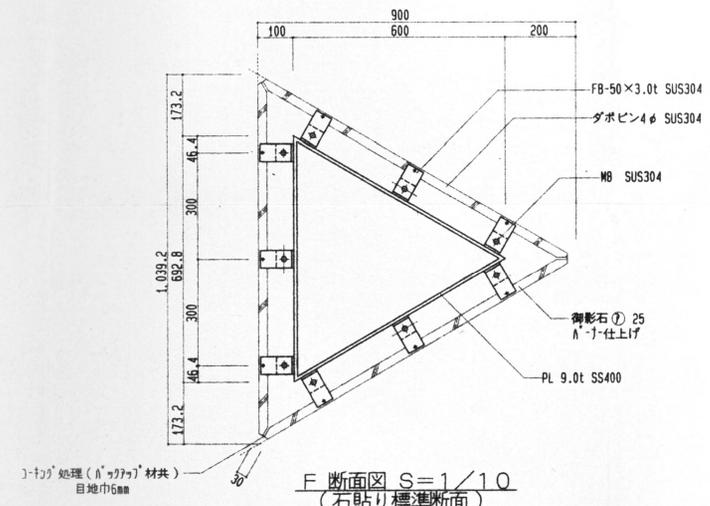
E
F



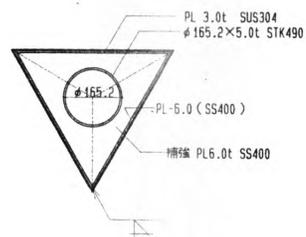
D 断面図 S=1/10



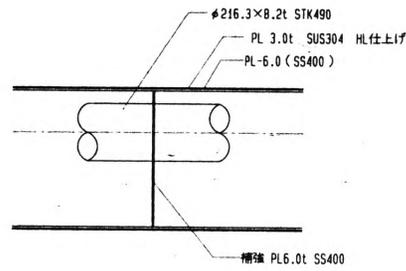
E 断面図 S=1/10



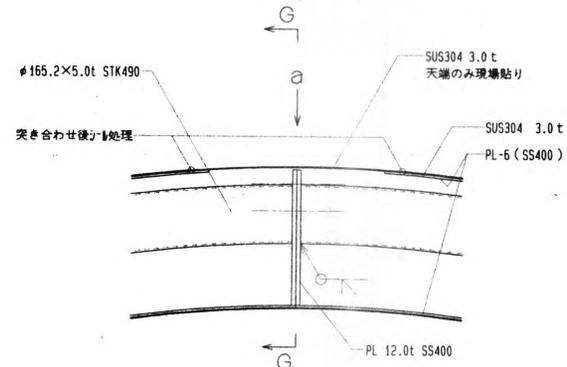
F 断面図 S=1/10
(石貼り標準断面)



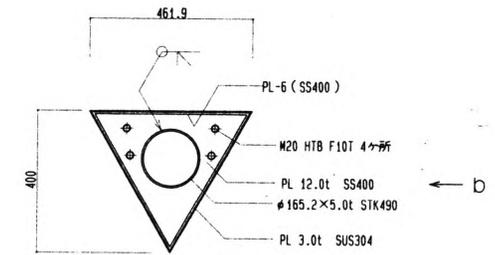
A断面図 S=1/10



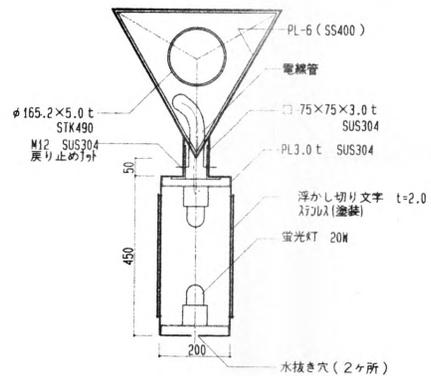
補強PL詳細図 S=1/10



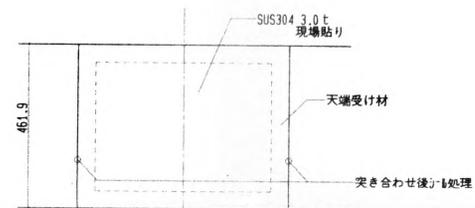
1部随詳細図 S=1/10



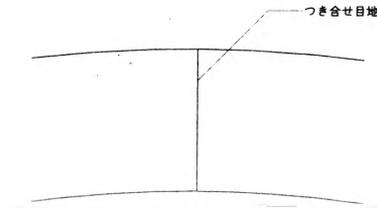
G断面図 S=1/10



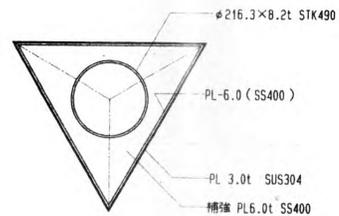
B断面図 S=1/10
(サイン取付部)



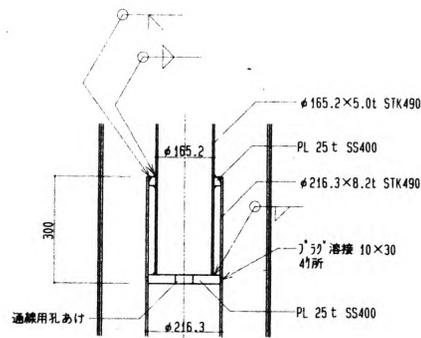
a矢視図 S=1/10



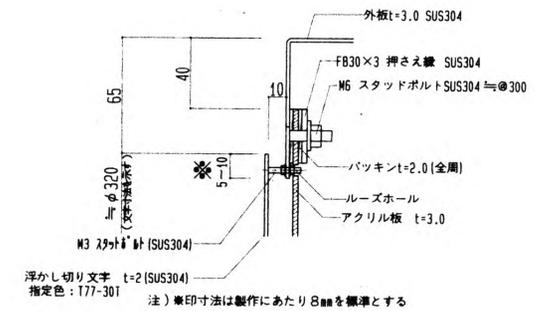
b矢視図 S=1/10



C断面図 S=1/10



口部随詳細図 S=1/10



浮かし切り文字取付詳細図 S=1:2